

日南町森林組合通常総代会



第54回 通常総代会開催

平成 29年5月26日第54回通常総代会を、日南町総合文化センターにて開催しました。お忙しい中、総代の皆様にご出席いただきありがとうございました。来賓として鳥取県議会議員 内田博長氏、日南町長 増原聡氏、日南町議会議長 村上正広氏、鳥取県森林組合連合会代表理事会長 前田幸己氏、鳥取県西部総合事務所日野振興センター所長 越智浩明氏にご臨席いただきました。

議長に石見地区の中村秀人氏を選任し、総代数201名中、実出席総代者100名、委任状提出者25名、書面議決数28名、計153名の総代により審議され、第1号議案から第8号議案及び付帯決議が原案どおり承認可決されました。

◆目次

● 第54回通常総代会 …………… 1	● お電話での相談窓口設置いたしました …………… 8
● 日南町森林資源総合活用計画 …………… 4	● 購買品 …………… 8
● 中央中国山地地域循環型林業モデル構想 …………… 5	● 保安林内で作業または立木伐採をされる皆様へ …… 9
● 森林経営委託契約更新 …………… 6	● 理事会開催報告 …………… 9
● 山で働く林業機械 …………… 7	● 日南町森林組合組織図 …………… 10
● 平成 29 年度各事業補助金取扱手数料 及び精算時期について …… 8	● 活動報告 …………… 11
	● お知らせ …………… 12

Green Community

グリーンコミュニティ

日南町森林組合広報誌

日南町森林組合

鳥取県日野郡日南町生山 423-2

TEL(0859)82-0130

FAX(0859)82-0321

E-mail:info@n-forest.jp.net



平成28年度 事業報告

区 分	説 明																
指導部門	<ul style="list-style-type: none"> ●意向調査を実施し、意見を聴取し、今後の事業運営の問題点を取りまとめました。 ●施業集約化の推進、経営計画の充実を図るため、森林整備事業説明会を実施しました。 ●集約化説明会（67旧施業団地）、集約化自治会説明会を町内23自治会で実施しました。 ●FSC®認証材とJ-VERの販路拡大に努めました。 ●労務改善、安全衛生対策のため、安全大会・安全会議・各種健康診断を実施しました。 ●林業後継者の社会保険料助成事業に取り組みました。 																
販売部門	<ul style="list-style-type: none"> ●日南町木材生産事業協同組合等と協力し、森林組合貯木場等への木材集積に努めました。 ●高性能林業機械を使った生産システムを構築し、搬出コスト削減に努めました。 ●日南町、鳥取県造林公社等と請負契約を締結し、素材生産・作業道開設等の事業を行いました。 <table border="1"> <tr> <td>・森林整備事業取扱い材積</td> <td>28,680m³</td> <td>金額</td> <td>277,344千円</td> </tr> <tr> <td>・木材団地組合集積場丸太取扱い材積</td> <td>32,785m³</td> <td>金額</td> <td>330,925千円</td> </tr> <tr> <td>・林産事業（町有林・公社請負）</td> <td>21.74 ha 3,509m³</td> <td>金額</td> <td>31,374千円</td> </tr> <tr> <td>・製品取扱い材積</td> <td>70m³</td> <td>金額</td> <td>4,592千円</td> </tr> </table>	・森林整備事業取扱い材積	28,680m ³	金額	277,344千円	・木材団地組合集積場丸太取扱い材積	32,785m ³	金額	330,925千円	・林産事業（町有林・公社請負）	21.74 ha 3,509m ³	金額	31,374千円	・製品取扱い材積	70m ³	金額	4,592千円
・森林整備事業取扱い材積	28,680m ³	金額	277,344千円														
・木材団地組合集積場丸太取扱い材積	32,785m ³	金額	330,925千円														
・林産事業（町有林・公社請負）	21.74 ha 3,509m ³	金額	31,374千円														
・製品取扱い材積	70m ³	金額	4,592千円														
森林整備部門	<ul style="list-style-type: none"> ●森林経営計画に基づき積極的に施業の集約を進め、施業の効率化により、低コスト化に努めました。 ・森林経営計画の作成状況 19,011.24ha ・集約化実施面積（間伐） 651.19ha 搬出材積 45,708m³ ●各種造林補助金を利用、保育、間伐等の推進に努めました。 ・新植 1.28ha 雪起 1.0ha 下刈 9.15ha 除伐 1.67ha 枝打 2.50ha 間伐 651.19ha ●森林作業道等の道路網の整備を進めました。 ・林業専用道（幅員 3.5m） 1路線 810m ・搬出作業道（幅員 2.5m） 5路線 11,712m ●森林総研・造林公社・日南町・米子市行造林等の請負施業を実施しました。 ・新植 3.66ha 雪起 16.16ha 下刈 46.18ha 除伐 19.60ha 枝打 11.74ha 間伐 35.97ha 																

平成28年度損益計算書

単位:千円

科 目		金 額
事業総利益	事業総収益①	560,836
	事業総費用②	430,523
	事業総利益③=①-②	130,313
事業管理費④	93,783	
事業利益⑤=③-④	36,530	
事業外損益	事業外収益⑥	2,134
	事業外費用⑦	467
	事業外損益⑧=⑥-⑦	1,667
経常利益⑨=⑤+⑧	38,197	
特別損益	特別利益⑩	17,018
	特別損失⑪	4,850
	特別損益⑫=⑩-⑪	12,168
税引前当期純利益⑬=⑨+⑫	50,365	
法人税及び住民税⑭	16,000	
当期剰余金⑮=⑬-⑭	34,365	
前期繰越剰余金⑯	11,625	
当期末処分剰余金⑰=⑮+⑯	45,991	

平成28年度部門別損益計算書

単位:千円

部 門	費 用	収 益	損 益	
指 導	4,056	1,071	△2984	
販 売	販 売	25,918	46,256	
	建 設	2,534	2,546	
	加 工	330,152	331,640	
	358,605	380,443	21,837	
森林整備	森林整備	46,236	147,089	
	利 用	17,149	26,685	
	購 買	4,475	5,546	
	67,861	179,321	111,460	
合 計	② 430,523	① 560,836	③ 130,313	

平成28年度 剰余金処分案

単位:千円

科 目	小 計	合 計
当期末処分剰余金		45,991
剰余金処分額		37,000
法定準備金	7,000	
任意積立金	30,000	
次期繰越剰余金		8,991

平成29年度 事業運営の基本方針

区 分	説 明
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ●組合員のための森林組合を念頭に、役職員一丸となって組合運営に努めます。 ●日南町の森林・林業・木材産業の再生、成長産業への飛躍を図るために、循環型林業の確立を目指し、「日南町森林資源総合活用計画」の確立、周知、推進を図ります。そして、施業の集約化を進め、森林管理道路網の整備・開設を行い、事業を推し進めていきます。 ●次世代を担う人材育成を図っていきます。 ●国有林、鳥取県、鳥取県造林公社から発注される事業の入札に参加し、森林研究・整備機構とは、事業実施計画を作成して、それぞれの作業を実施します。
指導部門	<ul style="list-style-type: none"> ●組合員の意向調査の結果を基に、より充実した組合員サービスに努めます。 ●環境型林業の確立を目指し、J-V E R・F S C®認証の啓蒙、普及に努め、販路拡充に努めます。 ●組合情報誌の発行により、組合員との情報交換を密に行い、事業推進に努めます。 ●コンプライアンス態勢の確立を図ります。
販売部門	<ul style="list-style-type: none"> ●組合貯木場の荷受け、選木、販売システムの体制を整備、充実し、木材の安定供給、販売体制の一層の強化に努めます。 ●日南町木材生産事業協同組合との連携により、生産体制の充実、強化を図り、間伐促進、木材生産量の増、安定供給体制作りにも努めます。 ●一般材、未利用材の搬出量増加とその有効活用に向けたシステム作りにも努めます。
森林整備部門	<ul style="list-style-type: none"> ●森林経営委託契約の更新に伴い、森林経営計画をより充実したものとし、施業の集約化、効率化を図ることにより、低コスト化に努めます。 ●高性能林業機械による木材生産システムの充実を図り、経費削減に努めます。 ●各種造林補助金等を活用し、間伐・皆伐再造林等の推進に努めます。 ●森林管理道（林業専用道）等、道路網の整備、開設等推進に努めます。 ●林業資材・機械器具及び優良苗木の斡旋に努めます。

平成29年度損益計画

単位:千円

科 目	金 額
事業総収益①	649,126
事業総費用②	550,571
事業総利益③=①-②	98,555
事業管理費④	97,460
事業利益⑤=③-④	1,095
事業外収益⑥	315
事業外費用⑦	600
事業外損益⑧=⑥-⑦	△ 285
経常利益⑨=⑤+⑧	810
特別利益⑩	83,000
特別損失⑪	83,000
特別損益⑫=⑩-⑪	0
税引前当期純利益⑬=⑨+⑫	810
法人税及び住民税⑭	400
当期剰余金⑮=⑬-⑭	410
前期繰越剰余金⑯	8,991
当期末処分剰余金⑰=⑮+⑯	9,401

平成29年度部門別損益計画

単位:千円

部 門	費 用	収 益	損 益
指 導	4,950	500	△ 4,450
販 売	販 売	9,200	14,500
	建 設	4,500	5,000
	加 工	338,820	341,060
	352,520	360,560	8,040
森林整備	森林整備	170,861	260,861
	利 用	18,240	22,205
	購 買	4,000	5,000
	193,101	288,066	94,965
合 計	② 550,571	① 649,126	③ 98,555



総代会での質問・意見、要望について

質問・意見	回 答
問1 理事会、検討委員会において(株)ウッドカンパニーニチナンについて毎回協議検討されていますが、その内容について教えてください。	答1 厳しい経営が続く運営状況を毎回検討しています。出資している森林組合としては、役員を派遣し経営改善に取り組んでいるところです。また、全国的に大規模製材所が主流であり、小規模製材所は苦戦を強いられていますが、小規模でも生き延びる道を模索しています。
問2 系統外出資等引当金について説明頂きたい。	答2 協同組合レングスの出資額20万円と(株)ウッドカンパニーニチナンの出資額の1割、465万円をそれぞれの会社の財務状況を勘案し、必要と思われる額を計上しました。
問3 (株)ウッドカンパニーニチナンの出資額を今年度1割引当てたことによって、何年かにかけてゼロになるまで償却されるのか。	答3 資産評価を基に、決算を行なうように指導があり、それに基づき計上しました。
問4 (株)ウッドカンパニーニチナンの資産評価と現在の経営状況を教えてください。	答4 赤字が続いております。出資額の実質価額はおよそ半額になっています。来年度以降も経営の状況を見ながら資産評価を行ないます。

要 望

- (株)ウッドカンパニーニチナンには、沢山の出資をしているので経営が悪くなれば森林組合にも影響が及びます。早急に対応策・改善策を求めて頂きたい。
- 森林所有者の山離れが進んでいます。来年度更新を迎える森林経営計画では、森林組合にリーダーシップを取って頂き、長期的なビジョンを持って管理を行なって頂きたい。
- 近年は集成材用の山づくりが目につきます。優良材の生産にも力を入れて頂きたい。

日南町森林資源総合活用計画

環境の森づくり、循環の森づくり、人材づくりを進めていく為、森林所有者、木材の生産・加工・流通等の各分野が連携を深め、充実してきた森林資源を総合活用し、事業の多角的拡大を計り、地域及び林業の振興発展を目指します。

現在の課題

- 森林経営の意欲低下
- 不在森林所有者増加
- 境界未確定
- 放置森林
- 林齢構成のアンバランス
- 森林情報整備の遅れ
- 国産材供給不足
- 林業従事者不足
- 自然災害リスク増加

など

計画の方針

環境の森づくり

- 森林整備を通じ自然と人間との共生出来る循環型社会を目指し、環境に配慮した適切な森林管理と木材生産と森林資源の有効利用を行い地域社会に貢献します。

循環の森づくり

- 山林の集約化を進め、施業地を設定し立木在庫を確保し、継続的な木材生産を進め、木材の安定供給を維持していきます。
- 一定量の皆伐・再造林を行なうことにより、アンバランスな森林構成を是正し、循環可能な森林資源を造成していきます。

人材づくり

- 組合員や地域の負託に応え、信頼される森林組合を目指します。
- 安全な職場環境・条件整備を進めます。

中央中国山地地域循環型林業モデル構想について

日南町森林資源総合活用計画を進める中で、日南町が林野庁の事業に応募し、全国16箇所の中の1箇所として「中央中国山地地域循環型林業モデル構想」が選定されました。人工林が本格的な利用期を迎える中、地域の森林資源の循環利用を進め、林業の成長産業化を図ることにより、地元へ利益を還元し、地域の活性化に結びつける取り組みを推進する地域を5年間支援する事業です。

日南町森林資源総合活用計画の方針に基づき中央中国山地地域循環型林業モデル構想を進めていきます。

事業全体の概要

- 森林資源を無駄なく、かつ効率的に活用する「カスケード計画」を基軸とする新たな循環型林業を構築し、林業の成長産業化を目指します。
- 林業の成長産業化に伴い、新たな雇用を創出することで人口増加を目指すと同時に、町内の地域経済循環率向上を目指します。
- 林業の町にふさわしい、子育て支援・人材育成を行なうことで、将来における林業業界の担い手の確保を目指します。

重点プロジェクトの概要

- 「使い切る」木材活用事業
 - ・ 不在村地主等山林集約化事業
 - ・ ICT技術を活用した中央中国山地地域モデル循環型林業の確立事業
 - ・ FSC®材・FSC®製品流通拡大事業
 - ・ 森林カスケード新マテリアル開発事業
 - ・ 木材公共施設等整備事業
- 日南町版林業担い手整備事業
 - ・ 林業アカデミー整備事業
 - ・ 200年の森等木育整備事業

地域の関係者で実現する将来像

- 関係団体、企業が一体となり、循環型林業を構築し、林業を「稼げる職業」「魅力ある仕事」に昇華させ、多くの人を呼び込み、その経済波及効果によって過疎からの脱却を目指します。
- 県域を越えた取り組みとすることで、単一市町村では困難なFSC®認証材の販路拡大を進め、他の国産材との競争力を向上させます。



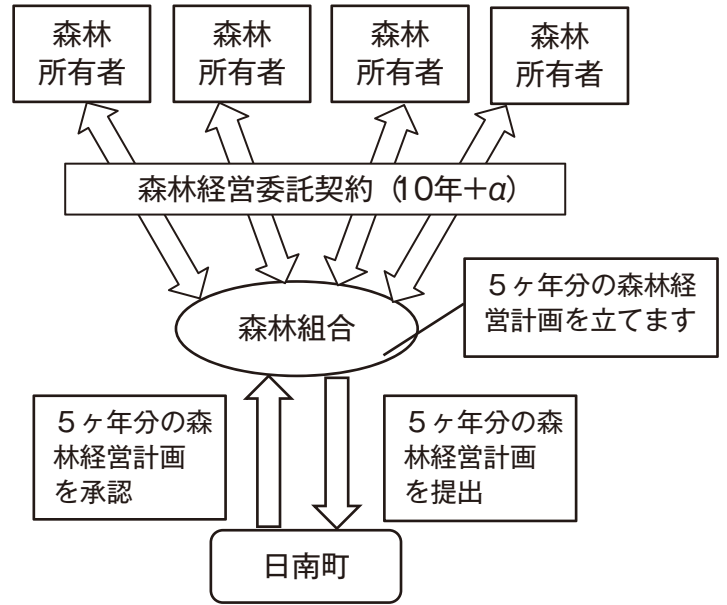
森林経営委託契約更新について

森林整備事業（補助事業）の基本である森林経営委託契約（契約期間：平成25年4月1日～平成30年3月31日）が契約期間満期となります。平成30年3月31日までに皆様方と契約の更新手続きを行ない、施業（手入れをしたい森林）のご希望等をお聞きし、引き続き「森林経営計画」を立て、切れ目なく平成30年4月1日より新年度事業が実施できる体制を整えたいと思います。

7月末から森林組合と森林経営委託契約を結んでいらっしゃる方を対象に森林経営委託契約書、森林の計画申告書、包括継承予定報告書、同意書を順次送付いたします。
平成29年9月30日までに森林経営委託契約書、包括継承予定報告書、同意書に署名捺印、森林の計画申告書に5カ年の施業希望を記入頂き、同封の返信封筒にてご投函いただきますようお願いいたします。

この度の契約より更新手続きの簡素化を図るため契約期間を10年間（平成30年4月1日～平成40年3月31日）と致します。以降双方の申出がない限り、この契約は継続することとしております。

今まで森林経営委託契約を結んでおられない森林所有者の方はこの機会に結んでいただきますようお願いいたします。ご連絡いただきましたら必要書類をお送りいたします。



森林経営計画を立て、町より承認されることによって間伐等の補助金支援を受けることができます。この森林経営計画を森林所有者の皆様が各自で計画・作成することは大変困難な作業となります。現在、森林組合と森林経営委託契約を結ばれている方は森林組合が皆様に代わって作成しております。

ご不明な点等ありましたら、下記担当までお問合せいただきますようお願いいたします。

担当 ■森林計画課 藤原、松本 ■森林整備課 山根、矢田貝



【森林経営計画とは？】
 「森林所有者」又は「森林の経営の委託を受けた者」が、単独又は共同で森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について作成する5年を1期とする計画です。

【目的】
 森林経営計画は「健全な山づくり」と「手出しが少ない山の手入れ」の第一歩です。
 計画に基づいた効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させることです。
 資源として充実してきた森林を効率的に整備し、まとめて木材を供給していくことです。

平成29年度各事業補助金取扱手数料及び精算時期について

すべての施業についての組合手数料は、組合員の方は一律 **事業費×15%** になります。但し、**持出補助金は材積当たり324円(税込み)** になります。

間伐補助金については、右記精算時期目安を設定し少しでも精算が早くできるよう進めていきます。

但し、作業の終了時期、申請件数や冬期の降雪の状況、それに伴い県の検査状況、県・国予算の執行状況により精算時期が変わることがございますのでご了承ください。

精算時期目安

雪起こし	9月
新植	12月
下刈り	12月
除伐	12月、3月
枝打ち	12月、3月
間伐(搬出)	12月、3月
持ち出し	8月、11月、2月、5月



お電話でのご相談窓口設置いたしました！

山林に関するご相談・ご質問等がありましたらお問合せください。

- ・山林意向調査に関するご相談 相談員 秋末光司
- ・森林経営計画（森林経営委託契約）
施業の集約化、説明会開催などのご相談 森林計画課 松本公則・藤原孝志
- ・山林施業についてのご相談
（作業道、公社・公団造林含む） 森林整備課 山根隆男・矢田貝大志
販売課 松浦昌司・増田隆洋

通話料無料 **0120-988-928** 時間：9時から17時まで
(土・日・祝日・事務所休業日を除きます。)

購買品

パワー森林香

1,280円+消費税



携帯防虫器

940円+消費税



ハスクバーナー
混合オイル 1L

1,760円+消費税



サンリン麻なわ(小)

760円+消費税



野菜づくりにもお勧め。
野菜の誘引用にいかがですか。

保安林内で作業または立木伐採をされる皆様へ

～立木の伐採や作業道開設時にはご注意を～



・保安林について

森林には、水源のかん養、土砂の流出や崩壊の防備など、様々な働きがあります。

国や県では、特に重要な役割を果たしている森林を保安林に指定し、過度な伐採や開発を制限しています。鳥取県の森林面積の約54%が保安林に指定されています。

・保安林内での作業の前に

日南町内の保安林内で「立木・立竹を伐採したい。」「作業道をつけたい。」このような場合は、森林法に基づきあらかじめ作業をする森林を管轄する鳥取県西部総合事務所長の許可を受ける（又は届出をする）ことが必要となります。

なお、日南町森林組合と森林経営委託契約を行い補助事業申請をされた方については、保安林関係の申請・届出書類を森林組合が取りまとめ、鳥取県西部総合事務所日野振興センターへ提出いたします。

・保安林に指定されているかどうか知りたいとき

鳥取県西部総合事務所日野振興センターに備えつけられている保安林台帳を閲覧することにより確認できます。保安林の指定地は、一部の例外を除き、土地登記簿の地目が「保安林」となっています。

※申請・届出を行わずに、保安林内で作業又は立木の伐採をした場合は森林法に違反し、罰則の適用を受けることもあります。

お問い合わせ先

鳥取県西部総合事務所日野振興センター日野振興局

農林業振興課 林政担当 電話：0859-72-2020

理事会開催報告

平成28年度第7回理事会

(平成28年12月13日)

協議事項

- ・日南町議会との意見交換会について
- ・職員年未賞与支給について
- ・(株)ウッドカンパニーニチナンについて
- ・その他

平成28年度第8回理事会

(平成29年2月27日)

協議事項

- ・平成28年度1月末仮決算並びに決算の見込みについて
- ・日南町森林資源総合活用計画について
- ・意向調査対策について
- ・(株)ウッドカンパニーニチナンについて
- ・平成29年度各種手数料の設定について
- ・固定資産の廃棄について
- ・その他

平成28年度第9回理事会

(平成29年3月10日)

協議事項

- ・日南町森林資源総合活用計画について
- ・利益相反契約について
- ・日南町森林組合諸規程の変更について
- ・日南町森林組合建設工事請負契約約款の一部変更について
- ・その他

平成28年度第10回理事会

(平成29年3月16日)

協議事項

- ・国立研究開発法人森林総合研究所との分収林(変更契約)について
- ・(株)ウッドカンパニーニチナンについて
- ・その他

平成28年度第11回理事会

(平成29年3月29日)

協議事項

- ・(株)ウッドカンパニーニチナンについて
- ・その他

平成29年度第1回理事会

(平成29年5月9日)

協議事項

- ・日南町森林組合定款並びに諸規程の一部改正について
- ・第54回通常総代会提出議案について
- ・利益相反契約について
- ・固定資産取得について
- ・(株)ウッドカンパニーニチナンについて
- ・その他

平成29年度第2回理事会

(平成29年3月29日)

協議事項

- ・理事報酬の決定について
- ・役員報酬の支払い方法について
- ・意向調査に基づく事業推進について
- ・諸規程の制定について
- ・(株)ウッドカンパニーニチナンについて
- ・職員夏期賞与支給について
- ・その他

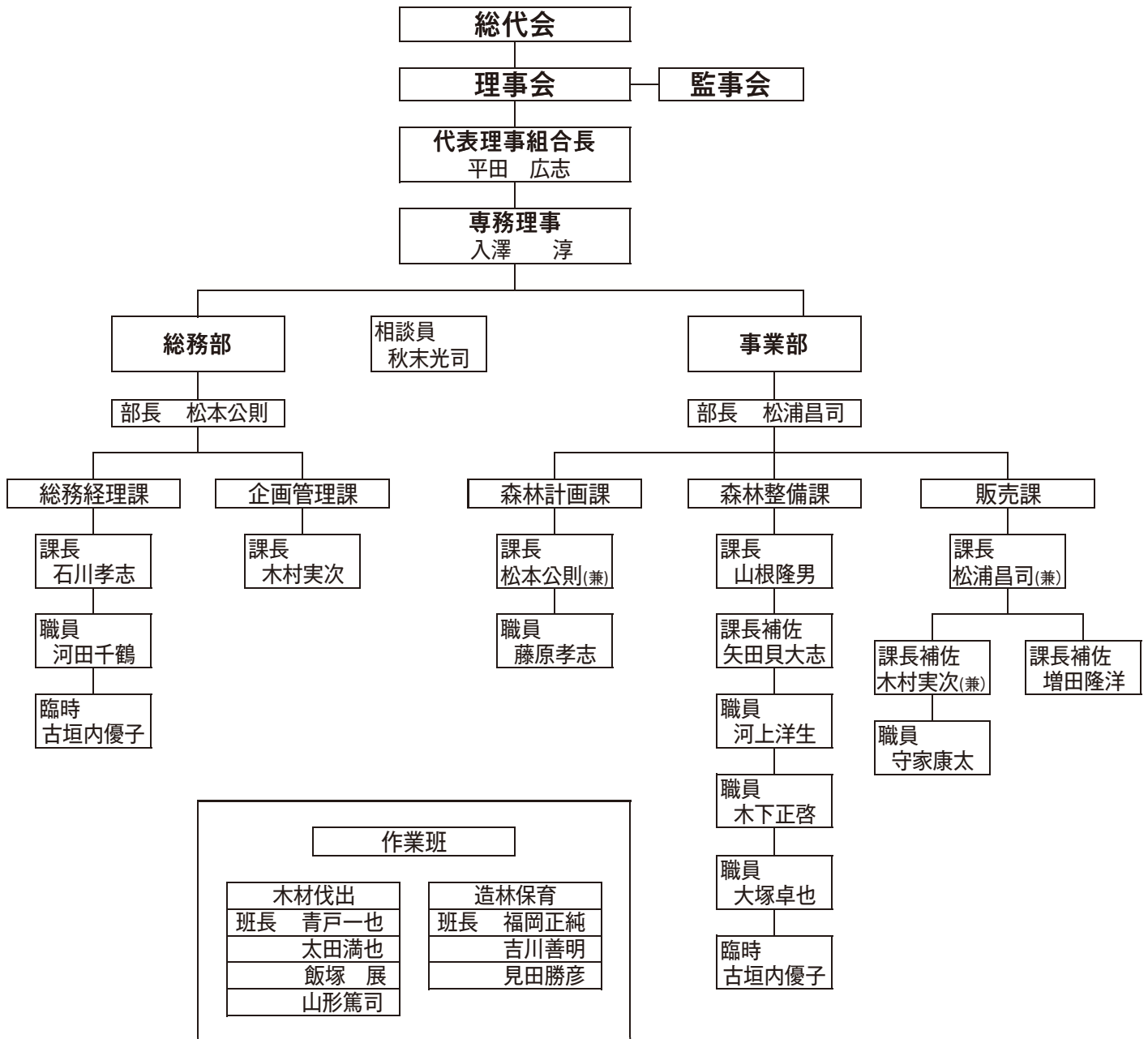
平成29年度第3回理事会

(平成29年6月7日)

協議事項

- ・固定資産取得について
- ・(株)ウッドカンパニーニチナンについて
- ・その他

日南町森林組合組織図



新入職員の紹介



守家 康太

事業部販売課でお世話になっています。まだまだ分からないことも多く、少しでも早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てるよう日々努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



大塚 卓也

4月より事業部森林整備課でお世話になっています。日々先輩方にご指導を受け仕事を覚えている最中です。皆様のお役に立てるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

活動報告



小丸太組合設立 (H29.3.18 日南町林業センター)

若手林業従事者36名により設立されました。高性能林業機械の技術習得、作業効率向上、労災防止等の研修、講習を行なっていきます。

小丸太組合研修 (H29.6.14 日南町内の山林、木材団地)

3月に設立された小丸太組合が町内の林業現場、(株)オロチ、米子木材市場生山支店での研修を行いました。他の事業所の作業方法、どのような木材を出せばよいのかなどを研修しました。



集約化自治会説明会 (H29.3)

町内の自治会総会等開催に合わせて山林施業の集約化の概要と、間伐、皆伐・再造林について説明をいたしました。貴重な会の時間を割いていただきありがとうございました。



事業所説明会 (H29.6.15 日野高校)

卒業を控えた日野高校の3年生を対象に就職活動の参考にしてもらう為に開催され、日南町森林組合も業務の概要説明を行ないました。説明ブースには就職希望者37名のうち8名の高校生が説明を聞きに来てくれました。



ポコチェ下刈り作業 (H29.7.1 日南町霞)

フリーマガジン「ポコチェ」のECO部が、昨年植付を行なったハシバミの下刈り作業を行ないました。慣れない長柄鎌を使用しての作業で大変でしたが懸命に下刈りをされました。



安全パトロール (H29.7.3 日南町阿毘縁他)

事業部担当理事による森林組合の作業現場のパトロールを行ないました。保護具の着用と作業指示者選任及び指示の確認等を行いました。

お知らせ

熱中症の症状について



軽症:手足のしびれ、めまい、立ちくらみ、筋肉のこむら返り、気分が悪い、ボーっとする



中度症:頭痛、吐き気、嘔吐、体がだるい、力が入らない



重症:意識障害、けいれん、体が熱い、真っ直ぐ歩けない、走れない、呼びかけへの反応がおかしい

小まめな休憩と、水分補給（塩分摂取）を！

「現場で熱中症を防ぐ7つのポイント」

1. 朝起きて、200ccの水分補給。
2. エアコン消して、「汗」をかいて現場にGo→汗腺の活動を促す。
3. 現場に着いたら、200ccの水分補給
4. 30分置きに200ccの水分補給（暑い日、激しい仕事）
5. 汗を小まめに拭く（発汗作用を助ける）拭かないと汗が出ない。
6. 室内との温度差を5度未満とする（昼食時、注意のこと）
7. 夏はアルコール厳禁です。→アルコールは利尿作用

「自分だけは大丈夫」と思わずに！



職員募集！

■総合職（正職員）、木材集積場作業員（正職員）、木材伐出・造林保育作業員（雇用期間の定めあり）を募集しております。詳しくはハローワークまでお問合せ下さい。（ハローワーク根雨 電話0859-72-0065）

■来年3月卒業予定の高校生を対象に職員を募集しています。お子さん、お孫さんに地元日南町で働いていただきたいと思っておられるご家族の皆さん、是非勧めていただきますようお願いいたします。

募集職種：総合職、貯木場作業員、木材伐出作業員、造林保育作業員です。詳しくは在籍されている高校までお問合せ下さい。

組合員の加入、名義変更等について

■日南町内に山林を10アール以上所有をされている方は組合員の加入が出来ます。詳しくはお問合せください。

■亡くなられた組合員の方の名義の変更がまだの方は森林組合までご連絡いただきますようお願いいたします。届出用紙をお送りいたします。引越しをされてご住所が変更になられた方も森林組合までご連絡いただきますようお願いいたします。

担当 総務経理課 石川、河田



お盆の休業 8月11日（金）～16日（水）まで



組合員数（平成29年6月30日現在）
正組合員数 1,507名
准組合員数 9名

編集後記 今年は九州の福岡、大分で集中豪雨による土砂災害が発生し、多くの方が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。山を手入れすることは災害を減らす役割も担っていますので、今一度自分の財産である山のことを気にかけていただければと思います。（編集員 河上・藤原・河田）

グリーンコミュニティー No.145

発行 日南町森林組合
発行日 平成29年7月
発行責任者 平田 広志
印刷 株式会社 高下印刷